

とよた 市議会 だより

9月市議会定例会
秋号
平成19年10月15日

ファイルNo.
85

子どもが幸せに暮らせるまちづくりを推進します
子ども条例の制定

幼稚園と保育園の名称を「こども園」に統一します
市立保育所条例等の一部改正

ピックアップ
TOPICS
トピックス

11月1日に渡り初めの
香嵐溪「待月橋」



香嵐溪「待月橋」の整備 安全・安心・快適な観光地を目指し、待月橋の架け替え工事が進められています。横幅は旧橋の約2倍となり、手すり部分には足助地区の木材が使用されています。完成予定は10月下旬で、11月1日に渡り初め式が行われる予定です。

議会の傍聴アンケート集計結果 ②
予算決算特別委員会 ③
議案説明・討論 条例の制定や一部改正など ④
採決一覧 議案審議結果 ⑤

常任委員会 付託案件・意見書・請願・陳情を審査 ⑥
市政について問う!
一般質問 25人の議員が質問 ⑧
情報あれこれ
委員会視察、議員研修会、海外視察検討委員会など ⑫

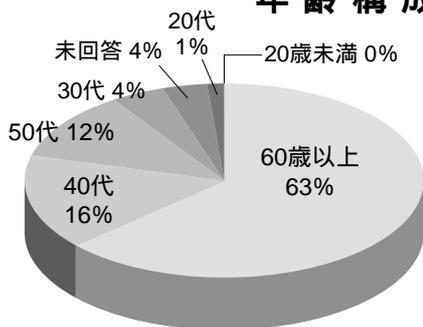
議会の傍聴アンケート集計結果を報告します

市議会では、本会議を傍聴された方にアンケートのご協力をお願いしています。今回は平成19年6月定例会でのアンケート集計結果をお知らせします。本会議を傍聴された方は5日間(6月8日、11日、12日、13日、26日)で327人、そのうち225人(全体の約69%)の方から回答をいただきました。

小数点以下は四捨五入

質問項目 1

年齢構成

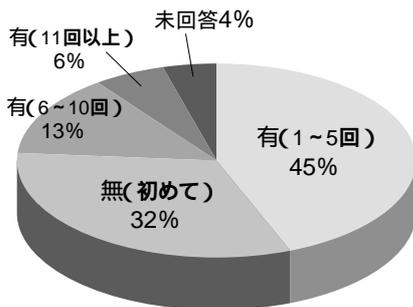


選択項目	人数(人)	比率(%)
60歳以上	143	63
40代	35	16
50代	26	12
30代	10	4
20代	3	1
20歳未満	0	0
未回答	8	4
合計	225	100

約63%が60歳以上の方でした。前年同月に比べ、若い世代の傍聴が増えました。

質問項目 2

傍聴回数

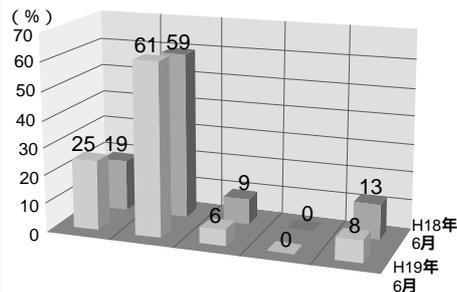


選択項目	人数(人)	比率(%)
有(1~5回)	99	45
無(初めて)	73	32
有(6~10回)	30	13
有(11回以上)	13	6
未回答	10	4
合計	225	100

2回目以上の傍聴者が約63%で、前年同月に比べ増加しました。

質問項目 3

議員の発言内容に対する理解度は?



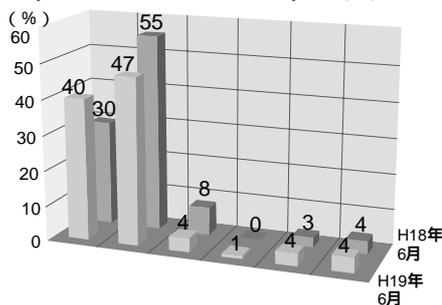
選択項目	H19年6月(%)	H18年6月(%)
よくできた	25	19
できた	61	59
あまりできなかった	6	9
できなかった	0	0
未回答	8	13
合計	100	100

全体の約86%の方から理解できたとの回答をいただきました。前年同月に比べ、8%上がりました。

質問項目 4

クールビズの取組

(ノー上着、ノーネクタイ)の印象は?

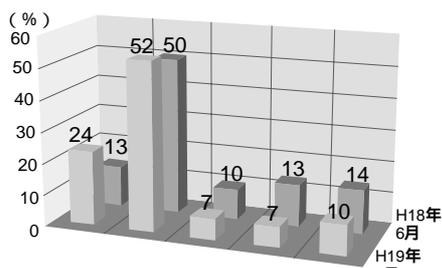


選択項目	H19年6月(%)	H18年6月(%)
大変良い	40	30
良い	47	55
少し違和感	4	8
大変違和感	1	0
どちらでもない	4	3
未回答	4	4
合計	100	100

「大変良い」、「良い」を合わせて87%の評価をいただきました。特に「大変良い」は前年同月に比べて10%上がりました。

質問項目 5

議会だよりを読みますか?

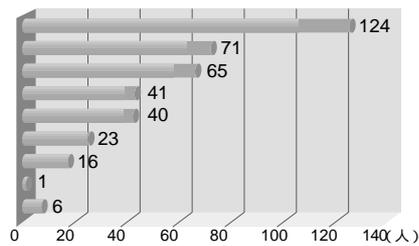


選択項目	H19年6月(%)	H18年6月(%)
必ず読む	24	13
時々読む	52	50
読まない	7	10
知らない	7	13
未回答	10	14
合計	100	100

「必ず読む」という方が、前年同月に比べ11%増え、より多くの方によっていただける傾向にあるものの、「読まない」、「知らない」という方にも読んでいただけるようなPRと誌面づくりを工夫してまいります。

質問項目 6

今後知りたい情報は?



選択項目(複数回答)	人数(人)
議員の活動	124
本会議や委員会の会議内容	71
議員の行政視察内容	65
請願や陳情の方法	41
議員の報酬や待遇	40
議長交際費の支出状況	23
特になし	16
その他	1
未回答	6

「議員の活動」を半数以上の方が選択しています。毎回の調査でも同様の傾向にあります。議会としての活動を分かりやすくお伝えできるよう工夫するとともに、議会活動情報について検討してまいります。

アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。集計の結果は、よりよい議会運営の参考にさせていただきます。



予算決算特別委員会 決算についての質疑応答

9月13日から28日にかけて、本市の予算・決算について詳細な審査が行われました。こちらでは、その質疑応答の一部をご紹介します。

一般会計決算

商業活性化対策費及び 中心市街地活性化対策費

質問 中心市街地の
再開発事業

再開発事業によって中心市街地の中小小売業者にどのような影響を及ぼしているか。

答弁

中心市街地の商店は、高齢者が多く後継者が少ないという問題や、売上げが落ちているが販売促進活動が活発にできていない問題がある中で、とよたまづくり株式会社や商工会議所を中心に、大型店も商店街一つのショッピングモールであるというテナントミックス構想が進んでいる。現在、フリーパーキング事業によって駐車場の利用台数も増えており、徐々に効果が上がっている。中心市街地の大型店に加えて、商店街も何とか持ちこたえている状況だ。

一般会計決算

公的病院運営費補助金

質問 医療提供体制に
ついて

当市における、小児科・産科の休日・夜間における医師不足はないか。

答弁

小児科について、本市を含む西三河北部医療圏では、「1次救急医療」により、地域医療センターと休日救急内科診療所に対応し、その際、専門の小児科医による対応が必要と判断された場合には、「小児2次救急輪番制」で対応するという体制が整っている。また、産科については、消防から、救急搬送について搬送先等で困ったという状況はないと聞いている。現場では、医師や看護師に関して不足感があると聞いているが、現状において、医療体制は確保されていると考える。

一般会計決算

母子保健対策費

質問 おめでとう訪問事業の効果

おめでとう訪問事業について、具体的な効果と今後の展開をどのように予定しているか。

答弁

おめでとう訪問事業は、育児不安の高まる時期に家庭を訪問し、母親の育児不安の軽減や母子の孤立化を防ぐことが目的。第1子を出産した家庭を対象に実施しているが、昨年度のアンケート結果や子育て支援センターの紹介による利用状況などにより、育児不安の軽減、母子の孤立化の防止につながっていると考えている。また、今後の展開については、今年度は5中学校区、来年度は10中学校区、平成21年度には市内全地区で第1子を出産された家庭を訪問したいと考えている。

一般会計決算

北消防署始め4消防署費

質問 消防隊の出動について

消防隊の「その他の出動」が大幅に増加している理由と、その対応はどのようなか。

答弁

4年ほど前から増加傾向にあるが、救急出動に際して、救急車だけでなく消防隊も出動する取組の結果と認識している。重篤患者の場合など、現場処置に人手が必要で、消防隊が協力するようになってきており、救急支援などにより消防隊の出動が増えている。人命を考えると、単に出動回数を減らすことでは解決しないため、今後は効率的な対応ができるような仕組みを検討していきたい。

一般会計決算

市民相談事務費

質問 法律相談の
増加への対応

弁護士及び司法書士による法律相談の件数が増加傾向にあるが、市の対応は十分か。また、休日相談の今後の展開をどのように考えているか。

答弁

相談件数の増加に対しては、休日相談の実施に加え、今年度からは司法書士による多重債務に関する相談を創設するなど、相談回数の増加を図っている。予約制をとっていることから順調に対応できていると認識しており、休日相談会については好評であるため、来年度も実施する。

承認案件

平成18年度決算状況の審査を行いました。15件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、審査の結果、全ての案件(一部案件()を除き、全会一致)を妥当と認めました。

第3号 平成18年度一般会計決算

4	国民健康保険特別会計決算
5	食肉センター特別会計決算
6	都市計画事業土地区画整理特別会計決算
7	分譲住宅建設事業特別会計決算
8	公共下水道事業特別会計決算
9	卸売市場特別会計決算
10	老人保健特別会計決算
11	農業集落排水事業特別会計決算
12	水道水源保全事業特別会計決算
13	母子専属福祉資金貸付事業特別会計決算
14	介護保険事業特別会計決算
15	財産区特別会計決算
16	簡易水道事業特別会計決算
17	水道事業会計決算

第3号に3人、第4号に3人、第10号に1人、第14号に3人の反対がありました。



子ども条例の制定など45議案を議決 承認、報告案件などを審議

	主な案件名	内容
条例の制定	【第122号】 豊田市子ども条例	子どもの権利を保障し、幸せに暮らせるまちを実現するため、社会全体で子どもの成長を支え合う仕組みを整備します。子どもにやさしいまちづくり推進会議を設置し、豊田市子ども総合計画に必要な事項を定めます。
	【第123号】 豊田市計画事業豊田寺部土地区画整理事業施行規程	公共施設の整備改善や宅地の利用促進に向け、費用の分担や保留地処分の方法など、寺部地区の土地区画整理事業に必要な事項を定めます。事業期間は平成19～29年度の予定で、総事業費は158億4,100万円です。
条例の一部改正	【第134号】 豊田市立保育所条例等の一部を改正する条例	幼保一体化に伴い、保育園と幼稚園の名称を平成20年4月から「こども園」に変更します。幼稚園の授業料を「保育料」に改め、料金の上限を3歳児は14,000円/月、4～5歳児は10,000円/月として、教育委員会規則で定める額に改定します。
工事業請負契約	【第153号】 豊田産業文化センター改修工事	老朽化した産業文化センターを整備するため、トイレの改修、床・壁・天井の張り替え、芝生交流広場と大型エレベーターの新設などを行います。契約金額は3億9,585万円、完成予定は平成20年8月です。
財産の取得	【第158号】 豊田市立浄水小学校校舎増築等用地(浄水町地内)	校舎の増築などにより教育環境を整備するため、浄水町地内に約8,190m ² の用地を購入します。取得価格は約8億254万円です。

討 論

発言順に記載

諸 派 大村 義 則

議案第134号は、保育所職員の配置基準が一部とはいえ後退することに、職員や父母の中から不安の声がある。各園での説明もこの10月から始めたばかりで、来年4月からの実施は拙速と考え、反対。議案第137号は、6か月働くと得られた雇用保険の受給資格を、倍の12か月まで急に延長するもの。改正には正当な理由がなく、重大な労働条件の後退につながるため反対。

市民フォーラム 湯本 芳 平

議案第122号は、市民向けの「大人用」「子ども用」パンフレットの作成や、保護者と子どもが共に考える「共通認識の場作り」について、委員会で前向きな答弁があった。今後の展開に期待し、賛成。

議案第134号は、子育て世代には入園の選択肢が広がり、歓迎されるもの。「おめでとう訪問」をはじめ、子育て環境を整える一連の施策に少子化対策への期待を込め、賛成。

自民クラブ 梅村 進

議案第122号は、条例の起草にあたって40人の「子ども委員」が参加し、26の全中学校区で「地域子ども会議」を開催した。多くの子どもたちの意見と期待に応えるためにも制定すべきと考え、賛成。議案第133号は、移転後の福祉センターについて、休館日の変更や、午後9時までの利用時間延長などを行うもの。改正により市民の利便性が向上するため、賛成。

諸 派 岡田 耕 一

承認第3号について、納期前納付報奨金は県内の自治体で廃止の動きがあり

特別委員会において、自主学习グループで調査中との答弁があった。今後、本格的に議論されることを期待し、賛成。また市民山の家費は、指定管理者制度による施設の経費削減などに一定の評価はする。だが今後、施設の更新などの際には、民間への売却も視野に入れた検討を期待して賛成。

公明党 佐藤 恵子

議案第122号は、大切な未来の宝である子どもを守り育てるために、子どもと子育て家庭を取り巻く現状の問題点を踏まえて、条例に基づいた支援が大切であるため賛成。議案第134号は、保育環境の均一化や職員の配置基準の統一化、保育料の見直し、保育時間の延長など、保育サービスが拡充されている。今後も保育ニーズに応じた取組の推進を望み賛成。



議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています

9月市議会定例会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否				自民クラブは議長を除く			
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		諸派 4名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第122号 子ども条例	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0
123 都市計画事業豊田寺部土地区画整理事業施行規程	"	29	0	10	0	3	0	4	0
124 市立学校設置条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	1	3
125 政治倫理の確立のための市長の資産等の公開に関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
126 市役所支所出張所設置条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
127 情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
128 基金条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
129 手数料条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
130 生涯学習センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
131 視聴覚ライブラリー条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
132 地域バスの運行に関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
133 福祉センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
134 市立保育所条例等の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	1	3
135 道路の管理及び占用にに関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
136 火災予防条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
137 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	1	3
138 浅野会館条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
139 小原北部生活改善センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
140 介護予防拠点施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
141 旭地区農村環境改善センター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
142 トレーニングセンター条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
143 旭農林水産施設条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
144 新婚者住宅条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
145 特定公共賃貸住宅条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
146 地域定住化促進住宅条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
147 小原活性化促進住宅条例の一部改正条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
148 都市計画法施行令の規定に基づく開発区域の面積を定める条例の廃止条例	"	29	0	10	0	3	0	4	0
149 平成19年度一般会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	2	2
150 " 公共下水道事業特別会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
151 " 農業集落排水事業特別会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
152 " 介護保険事業特別会計補正予算	"	29	0	10	0	3	0	4	0
153 工事請負契約の締結(豊田産業文化センター改修工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
154 " (豊田産業文化センター電気設備改修工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
155 " (豊田産業文化センター空調設備改修工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
156 " (市道富田国附2号線[仮称]新富国橋橋梁新設工事[取付道路工])	"	29	0	10	0	3	0	4	0
157 " (下山西部簡易水道事業大沼橋浄水場及び平瀬取水場電気機械計装設備工事)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
158 財産の取得(市立浄水小学校校舎増築等用地[浄水町地内])	"	29	0	10	0	3	0	4	0
159 " (地域医療センターX線デジタルテレビ装置)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
160 " (水槽付き消防ポンプ自動車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
161 " (化学消防ポンプ自動車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
162 " (高規格救急自動車)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
163 " (高度救命処置用資機材)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
164 市道の認定(7路線 / 4,988.5m)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
165 市道の廃止(3路線 / 3,956.5m)	"	29	0	10	0	3	0	4	0
166 土地開発公社定款の変更	"	29	0	10	0	3	0	4	0
承認(第3号~第17号の決算関係分は3ページ参照)									
同意									
第6号 教育委員会委員の選任(再任:小田桐 勝巳氏)	同意	29	0	10	0	3	0	4	0
報告									
第7号 専決処分の報告(工事請負契約の変更3件、損害賠償額の決定7件)									
言明 原真									
第1号 「消えた年金」問題の早急な解決と最低保障年金制度の実現を求める請願書	不採択	0	29	0	10	0	3	3	1
2 「六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める意見書」の決議を求める請願書	"	0	29	0	10	0	3	4	0
陳情									
第4号 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書									
5 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
6 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
7 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書									
8 悪質商法を助長するクレジット被害防止のため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書提出を求める陳情書									
議員提出意見書									
第2号 道路整備のための財源確保に関する意見書	原案可決	29	0	10	0	3	0	0	4
3 有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書	"	29	0	10	0	3	0	4	0
4 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書	"	29	0	10	0	3	0	4	0



9月12日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました。

委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。

産業 建設 委員会

9月19日、付託議案19件を審査し、すべて全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第132号】豊田市地域バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

質問 地域バス使用料の算定基準はどのようか。

答弁 公共交通会議で決定した基準に基づき、地域バスで毎日運行するものは1乗車200円、曜日限定で運行するものは100円で運行している。また、定期券は往復運賃の20日間に相当するものを1か月の定期とし、3か月の定期券は5%、6か月の定期券は10%を割引いて算定している。通学定期はさらに半額として設定した。



【第144～147号】各種市営住宅に関する条例の一部を改正する条例

質問 入居者の個人情報保護、及び指定管理者の情報公開はされるか。

答弁 指定管理者と協定書を締結する中で、個人情報保護に関しては市職員に準じた遵守事項の基準で取扱いを定めることになっている。また、情報公開できるものは条例に基づいて行うように、協定書の中で決めていく。

環境 福祉 委員会

9月20日、付託議案3件と請願1件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第140号】豊田市介護予防拠点施設条例の一部を改正する条例

質問 本条例には6つの介護予防拠点施設が位置づけられている。その中で、老人憩の家あさひ荘の指定管理者制度の導入がなぜ遅れたのか。

答弁 他の5施設と同時期に指定管理者制度の導入を図ろうとしたが、本施設のみ指定管理団体に関する調整に時間を要した。今回、指定管理団体が設立され環境が整ったため、制度の導入を図るものである。



【第159号】財産の取得（豊田地域医療センター X線デジタルテレビ装置）

質問 地域医療センターの近年の医療機器の購入実績と、今後の購入計画はどのようになっているか。

答弁 5万円以上の機器を対象とした購入実績は、平成17年度が胸部X線デジタル検診車など43品目で2億750万円、昨年度がX線デジタルテレビ装置など31品目で1億4,700万円である。今後の購入計画については、センターにおける新たな需要や、既存機器の法定耐用年数などを踏まえながら計画的に購入していく。

教育 次世代 委員会

9月21日、付託議案5件を審査し、すべて全会一致で承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第122号】豊田市子ども条例

質問 第4条に「子どもの権利と責任」とあるが、この「責任」とはどのようなことを指しているのか。

答弁 「責任」とは、子ども自身が守っていくこと、気をつけていくことだと考える。第4条の第2項や第3項は、市民のみなさんから「自分の権利を大切にすると同時に、必ず相手にも同じように権利があり、相手を思いやる気持ちが絶対に必要である。それは子ども自身の責任として、条例にうたっていくべきである」との意見をいただき、このような表現とした。

【第134号】豊田市立保育所条例等の一部を改正する条例

質問 今回の幼保一体化により、保護者から自分の家の近くにある幼稚園の延長保育の時間を、保育園と同様に拡大して欲しいと要望があった場合、どう対応するのか。

答弁 すべての幼稚園で、一律に延長保育の時間を延ばすことは考えていない。しかし、地域のニーズをよく聞き、全市的な園の配置バランスなどを考慮した上で必要と判断すれば、幼稚園でも延長保育の時間を拡大する可能性はある。





委員会

生活 社会 委員会

9月25日、付託議案8件を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第130号】豊田市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

質問 旧保見交流館の活用についての考えは。

答弁 現在、本市では子どもを中心に、ものづくり学習を進展させるための取組を始めている。これを学校教育に導入するため、教育委員会などと調整を図っている。その際、学校に導入するものづくりの道具や学習に寄与する資材を準備する必要があり、教育センターに近い旧保見交流館の活用を検討している。また、少年少女発明クラブは希望が多く、抽選もれの子どもたちに“場”を拡充し提供するという意味で、ものづくりに関する施設利用をしたい。

【第157号】工事請負契約の締結(下山西部簡易水道事業大沼橋浄水場及び平瀬取水場電気機械計装設備工事)

質問 低入札調査対象であるが、どのような調査を行い、適正価格であると判断したのか。

答弁 3つの視点で調査を行った。この工事のほとんどは機器費であり、品質・精度についてもメーカー及び調達先に確認・調査した。その結果、本市の他の水道施設で実績のある機器であり、問題ないと判断した。また、過去の施工実績は良好な成績であり、経営状況についても黒字経営で技術者の確保が可能のため、特に問題ないと判断して今回の落札者に決定した。

企画 総務 委員会

9月26日、付託議案6件と請願1件を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第126号】豊田市役所支所出張所設置条例の一部を改正する条例

質問 今回、移転新築される保見出張所の特色として、どのようなことが挙げられるか。

答弁 この施設は交流館機能と出張所機能を併せ持つっており、交流館では初めて施設の西面を「壁面緑化」し、冷房費用の節減を図ろうと考えている。また、太陽光を熱エネルギーに変換し、暖房にも冷房にも使えるシステムを採用。さらに雨水を中水として利用するなど、環境に配慮した施設としている。また、コミュニティホールの一部を国際交流コーナーにすることも予定している。

【第129号】豊田市手数料条例の一部を改正する条例

質問 今回の温泉法の改正の背景や、主な改正内容はどのようなことか。

答弁 今まで温泉成分の分析は、初めに1回受けるだけでよく、古い情報が更新されないまま施設に掲示されているため、利用者のニーズに合わなくなった。また、全国的な温泉利用の拡大により、資源枯渇の恐れが出てきたのが改正の背景だ。主な改正内容は、温泉成分の定期的な分析及び掲示の更新の義務付けであり、今後は10年ごとに行われる。また、温泉の掘削や利用などの許可に関する制度が見直され、許可の際に条件を付与することが可能となった。条件に違反する場合は許可を取り消すことができるなど、温泉保護のための許可のきめ細やかな運用が可能になる。さらに今回、新たに温泉利用許可の地位の承継の規定が設けられた。

今定例会に、次のとおり意見書、請願、陳情が提出され、審査されました。

意見書

【意見書第2号】
道路整備のための財源確保に関する意見書

【意見書第3号】
有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書

【意見書第4号】
割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

上記の3意見書を、意見書第2号は賛成多数、第3号及び第4号は全会一致で可決し、国等、関係機関へ提出しました。

請願

【請願第1号】
「消えた年金」問題の早急な解決と最低保障年金制度の実現を求める請願書

【請願第2号】
「六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める意見書」の決議を求める請願書

上記の2請願を所管委員会及び本会議にて審査を行った結果、不採択となりました。

陳情

【陳情第4号】
学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書

【陳情第5号】
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情第6号】
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情第7号】
市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書

【陳情第8号】
悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情書

上記の5陳情が提出され、所管の委員会に送付されました。



9月10日から12日にかけて、25人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。質問の詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する、11月下旬発行予定の議事録をご覧ください。

高木キヨ子

自民クラブ

市長の政治姿勢について

第7次豊田市総合計画の
視点・信条・姿勢

質問

第7次豊田市総合計画が「豊かさ創造都市」を実現する上で、明確な指針となることを期待する。策定にあたっての視点・信条・姿勢について市長の見解は。

答 弁

市長

合併の基本理念の実現を前提とし、市民とともに知恵を出し合い、ともにまちづくりを推進することが重要だと固く信じている。現在、「共働」の理念に基づいて都市内分権に関わる施策を検討している。健康で、元気なまちをめざす中で、なすべきことは多いが、議会並びに市民のみなさまのご理解をいただきながらまちづくりを進めることが大切であると考えている。

清水俊雅

自民クラブ

第7次豊田市総合計画について
学校教育への取組について

行き届いた教育の
充実に向けて

質問

子どもにとって最も効果的な、少人数による授業の拡大を期待している。少人数学級・少人数指導の効果と今後の拡大について、市の考えは。

答 弁

教育委員会

少人数学級の導入により一人ひとりの良さを引き出し、きめ細かな授業が実現できるようになったと考え、今後は小学校3年生と中学校2年生への拡大を検討している。少人数指導について、小学校では「やる気が出た」という意欲面の成果があり、中学校ではテストの偏差値が伸びたという報告を受けており、ともに拡大を検討していく。

山内健二

市民フォーラム

豊田市長選へ向けて

来年2月の市長選への意向

質問

市長の2期8年の実績は、行政経営システムの立ち上げをはじめ高く評価され、3期目への期待も大きい。いつ、どのような形で出馬への決意表明をするのか。

答 弁

市長

今や本市は中核市となり、大変責任の重い市政の舵取り役という市長の職を務められたのは、多くの方々のおましやご理解のおかげと感謝している。3期目の出馬については自分で決断しなければいけないが、様々な課題が残される中、今後ご相談したいと考えていることもあり、希望としては10月末をめどにと考えている。

田中鋭司

自民クラブ

住みよい住環境の整備について
都市内分権の取組について

藤岡飯野地区の開発と
今後のまちづくり

質問

地域核に位置づけられる藤岡飯野地区の開発が、藤岡地区の発展につながると考える。当地区の都市マスタープランの位置づけと今後のまちづくりの考えは。

答 弁

都市整備部

当地区は都市計画マスタープランにおいて、公共施設の維持・強化や商業機能の維持を図る地域核と位置づけられ、現在、地区の基盤施設整備に関する事業手法や計画策定を地元のまちづくり協議会と共働で進めている。今後は主要な交差点改良を含め、地区として必要な基盤整備を積極的に進め、地域核のモデル事業として取り組みたい。

山野辺秋夫

市民フォーラム

豊田市の環境計画について

レジ袋の有料化に向けて

質問

レジ袋無料配布中止モデル事業の実施店舗が4店舗になった経緯はどのようなか。また、モデル事業者に対して補助の考えはあるか。

答 弁

環境部

とよたエコライフ倶楽部は、エコシール制度加盟店のうち12事業者と半年間検討し、トヨタ生協とあいち豊田農協から実施の申し出をいただいた。買物袋の持参率が比較的高い店舗として、生協は井上店と五ヶ丘店、農協はAコープ松平店とグリーンセンター松平店が指定された。金銭補助の予定はないが、周知用パネル作成や貸出袋の提供を考えている。



安藤康弘

市民フォーラム

子ども達の安全確保

子ども110番の家の
設置拡大に向けて

質問

子ども110番の家は学校と警察が連携し、地域との共働による息の長い活動と高く評価されている。設置件数の推移と拡大に向けた方策はどのようなか。

答 弁

教育委員会

設置件数は平成16年度が1,109軒、17年度が1,347軒、昨年度が1,579軒と年々増加し、地域の防犯意識の向上や子どもを見守る体制づくりに役立っている。学校がPTAや地域と協力して設置拡大に努めるようにするため、今後も校長会議などで呼びかけるほか、企業や様々な関係機関などと連携しながら推進していく。

加藤昭孝

自民クラブ

交通安全について

市職員の交通安全意識の向上

質問

公用車による事故は、ここ3年間で何件発生しているか。また、今後の改善策や今年度の目標について、市の考えは。

答 弁

総務部



質問順に掲載しています。

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

市側に過失がある事故件数は、平成16年度が22件、17年度も22件だったが、昨年度は31件と増加した。今年度からは採用5年目、10年目、15年目の全職員を対象に安全運転講習を新たに実施し、交通安全意識の向上を図っていく。今年度の目標は、過失割合50%以上または10万円以上の自損事故に該当する件数を19件以内としている。

桜井秀樹 市民フォーラム

シニア世代の生きがいづくりについて

公園管理業務などを委託する地域団体の設立 **質問**

地域のことは地域でやるべきと考える。地域団体を立ち上げ、公園管理業務の軽作業などを委託するという提案について、現時点での実現性は。

答 弁 建設部

公園愛護会などを母体とした、地域に密着した団体を組織していただくようお願いしていく。現在は、共働による公園管理を制度化するため、業務委託に関する実施要項案を制定中である。来年度から4か所の公園で試行・検証し、組織化に努める。報酬は作業ごとに算出し、委託契約によって支払うことを考えている。

外山雅崇 諸派

市道の維持管理に違法性はないが桂野町地内のPCBの処理計画について一部職員の倫理観について

道路台帳の整備と各種補助金の取得について **質問**

道路台帳が未整備のために地方交付税など、国や県の各種補助金が取得できない路線が多くある。道路台帳整備の現状と、今後の取組はどのようなか。

答 弁 建設部

昨年度から道路台帳整備を、問題意識を持って進めている。未整備の理由として、書類の整理や国・県からの

引き継ぎがされないなどがある。これから整備が必要となるのは、75路線・約23km。今年度は46路線・14kmの整備を行う予定であり、現在ストックしているものに関しては、今年度と来年度で整備を行いたい。

加茂みきお 自民クラブ

吹付けアスベスト対策について 住宅用火災警報器の助成充実について 家庭復帰、職場復帰をめざして

吹付けアスベスト除去対策費の補助について **質問**

国は自治体に対し、民間のアスベスト除去に補助制度を設けるよう指導している。今後も使用する建物について、対策費の一部を補助する考えはあるか。

答 弁 都市整備部

吹付けアスベストは飛散性が高く、市民の健康に及ぼす影響が大きい。多数の人が利用する民間建築物に対し、アスベストの分析調査及び除去、封じ込め、囲い込みの工事に対し、来年度から助成を実施する。補助限度額は県の補助要項に沿って、分析調査は10万円、除去などの費用は180万円とする予定だ。

三江弘海 自民クラブ

7月12日稲武地区ダウンバーストからの教訓

地域限定的な災害対策の体制と地域力向上 **質問**

7月の稲武地区ダウンバーストのような地域限定的災害対策で、市や支所の体制はどのようなか。また、今回の災害を通じて最大の教訓となったことは。

答 弁 社会部

災害対策体制として、風水害に関しては気象状況などに応じて5段階の配備体制をとることになる。支所は地区対策班に位置づけられ、主な役割は本部との連絡調整、避難場所の管理などである。今回、未経験の災害であったため、

迅速な事態の把握と地域への情報提供に手間取った。初期対応の能力向上に万全を期していきたい。

神谷和利 自民クラブ

「山間地域情報基盤整備計画の策定」について 「新庁舎の将来構想」について

ケーブルテレビ敷設のための国・県の補助 **質問**

地方の情報格差の是正は国策であり、ケーブルテレビ敷設は可能な限り国・県の補助を要請したい。市としての、また国・県としての補助はどのようなか。

答 弁 総合企画部

ケーブルテレビ敷設は、国や県の補助を受けることを基本に進めたい。国は条件不利地域の情報格差是正を図るための補助施策を実施しており、確実に補助が受けられるよう調査・研究を進める。県においても情報基盤整備に対して支援を始めており、本市が有効活用できるか検証しつつ、効果的に利用するよう努めていく。

河合芳弘 自民クラブ

第7次豊田市総合計画における土地利用基本計画

「産業技術核」整備の方向性について **質問**

産業技術核は、都心と同様の重要拠点である。都市計画分野における産業技術核整備の方向性と、三河豊田駅周辺の賑わい創出について市の考えは。

答 弁 都市整備部

産業技術核においては、業務・商業・研究開発・産業交流機能などの集積を図るため、技術核に立地する企業の意向もふまえ、将来の土地利用のあり方を検討し、必要に応じて用途地域の見直しをしていく。商業振興のソフト支援策などを活用し、三河豊田駅周辺を産業技術核の玄関口として発展させていきたい。



質問順に掲載しています。

正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

山田 和之

自民クラブ

子どもの読書活動の推進について
子育て支援策の充実について

子育てサポーターや
相談員の育成・確保

質問

子育て支援策は本市の最重要施策の1つである。子育てサポーターや子育て相談員の養成や確保の状況はどのようなか。

答 弁 ー 子ども部

地域子育て支援センターにいる子育て相談員は、幼稚園・保育園での豊富な経験を活かし、園長経験者をお願いしている。子育てサロンにいる子育てサポーターは、当該交流館長の推薦を受けた地域の子育て経験者やボランティアの方をお願いし、人員確保は順調である。定期的に実技指導や講演会などを開催し、人材育成に努めている。

牛田 朝見

自民クラブ

森づくりの基本計画について

過密人工林の積極的な
間伐に向けて

質問

市民が安心して暮らすためにも、上流域の人工林の積極的かつ計画的な間伐が必要である。森林基礎データの現状と豊田森林組合が行う森のカルテ事業の進捗状況は。

答 弁 ー 産業部

森林の基礎データは、県から貸与された森林簿と森林計画図が主体である。今後、人工林の整備を進める上で、県のデータに加えて市独自で、より正確な森林情報と施業履歴の管理を行うシステムを構築する必要がある。森のカルテ事業は、平成17、18年度の2か年で約830haの民有林を調査し、そのうち約230haの間伐を実施した。

清水 元久

自民クラブ

人家裏山の崩壊等災害に対する対応について
基金の有効かつ効果的な運用について
合併旧町村有林等の位置づけと管理について

災害時の支所体制の
充実・強化

質問

先の台風4号襲来時に、情報収集体制など一部混乱があったのは、現場に近い支所体制の不備に起因するのではないか。非常配備体制の強化について市の考えは。

答 弁 ー 社会部

災害などの非常時には、市長をトップとする災害対策本部を設置し、全庁あげて対応するため、支所などの平常時の組織体制とは全く別ものだと考える。新たに支所の活動を明確にするため、被害調査班を設けて災害現場の早期状況把握に努めるなど、役割の明確化を指示し、体制の充実・強化を図ったところである。

杉浦 昇

自民クラブ

循環型社会・脱温暖化社会構築について
現行会計制度改革について

当市の会計改革の方向性

質問

今後のバランスシート作成方法について、総務省方式と、財産台帳などの積み上げ方式、いわゆる基準モデル方式がある。将来、当市はどの方法を考えているのか。

答 弁 ー 総務部

現行の財務システムの大幅な改編の可否や、国の動向が不確実な点などを考慮し、当面はより簡便でコストのかからない総務省方式改定モデルの作成を検討しているが、財務システム改編の検討と並行して、基準モデルの導入についても可能性を研究していく。いずれを選択しても、現行の総務省方式より精度は高くなると考える。

鎌田 ひとみ

公明党

障がい児・者の支援について

障がい児・者を取り巻く
環境改善

質問

駐車場などの「車いすマーク」の利用対象者について、周知方法をどう考えているか。また、活字文書読み上げ装置の市役所・支所への導入について、取組はどのようなか。

答 弁 ー 福祉保健部

車いすマークは、車いす使用者や肢体不自由者のみを対象だと誤解されがちだが、知的障がいや内部障がいを含め、障がい者の方なら誰でも利用できる国際シンボルマークである。まずは広報などでの周知を考えたい。活字文書読み上げ装置は、今年度、来年度で実施すると、100万円を限度に県から10割補助が受けられる。当市も来年度当初予算に向けて検討していく。

杉浦 弘高

自民クラブ

豊田市の人づくり：豊田流・
教育行政と教育改革

子ども条例の健全な制定と運用

質問

子ども条例を制定した他の自治体では、権利の名の下に理不尽な主張と要求をされている。条例の健全な制定と運用がされるよう、防衛対策について市の見解は。

答 弁 ー 子ども部

子どもの権利は、豊かな子ども期を支えるものである。子ども自身の成長・自立につながるだけでなく、子どもと大人など、お互いが尊重し合う良い関係づくりにも結びつく。権利を正しく理解し行使するには、正しく学ぶことが極めて重要である。条例制定後、権利学習プログラム策定に速やかに取り組み、学校や地域の場で権利学習を推進したい。





一般質問

諸 派：会派所属無

小島政直 公明党

介護予防事業について
特定健診・保健指導事業について
行政トップリーダーとしての市政運営について

人材育成と
福祉教育について

質問

全国的に、介護の現場から若い人材が離れていく現象が生じている。本市における介護サービスの現状と、福祉教育の考え方はどのようなか。

答弁

福祉保健部
教育委員会

平成17年度の特別養護老人ホームの介護職員離職率は35%と高く、人材不足は本市においても課題である。今年度は全中学校で介護・福祉関連施設での職場体験学習に取り組んだ。この貴重な体験学習を26校が偏りなく取り組めるよう「(仮)豊田市中学生キャリア教育推進協議会」の準備を進めている。この協議会を通して、やりがいのある職場体験学習のあり方について、検討したい。

庄司章 市民フォーラム

安全なまちづくり活動について

自主防犯隊への
より細かな情報提供

質問

自主防犯隊への情報提供は、犯罪防止への大きな施策。校区別など、より細かな情報配信を行った方がパトロール隊の活動に役立つと考えるが、市の見解は。

答弁

社会部

警察署、教育委員会などからの犯罪発生状況は、「緊急メールとよた」により携帯電話やパソコンにメール配信することで情報提供に努めている。現在は不審者情報の配信が主であるため、今後は地域が本当に必要とするきめ細かな情報、いつ、どこで、どんな犯罪が起きたのかを配信できないか、警察署との協議を深めていきたい。

根本美春 諸派

「こども園」で保育の質は後退しないか
国保税の減免制度の拡充を求める

国民健康保険税の
減免制度の周知徹底

質問

国保税の減免対象者が申請をしやすいよう、減免の対象であることが本人に分かるよう通知に明記するなど、周知徹底の必要を感じるが、市の見解は。

答弁

市民部

国保税減免の周知は、国民健康保険ガイドブックを作成し、加入の手続き時に配布を行ったり、保険税の納税通知書に減免の内容を記載して周知に努めている。制度の内容を周知することは大切なことであり、日頃からそのような意識で仕事に取り組んでいるが、まだ足りないという意見があり、十分肝に命じて周知徹底を図りたい。

岡田耕一 諸派

児童・生徒のための教育環境整備
市職員が加入する超優遇の健康保険組合問題

超優遇の職員健康保険の
改善について

質問

当市職員が加入する九市健康保険は、公費負担が大きく優遇されている。共済組合への移行や折半負担の時期など、検討状況はどのようなか。

答弁

総務部

今年度、構成団体の6名の委員で構成する運営改善委員会において、保険料の負担割合、保険料率について検討している。そこで平成20年度、21年度の負担割合を決定し、21年度中には労使折半にする予定で検討している。共済組合への移行についても運営改善委員会で議論しているが、移行時期については具体的な数字が出ていない。

大村義則 諸派

市民の願うバス路線の展開を
公務労働の「民間開放」は
いきすぎているか

豊田厚生病院への
バスのアクセス

質問

豊田厚生病院の新設に伴い、最寄り駅である浄水駅や梅坪駅から病院玄関口までのバスのアクセスが必要になると考えるが、市の見解はどのようなか。

答弁

都市整備部

豊田厚生病院へのアクセスについては、鉄道を主体に考えている。現在、浄水駅から病院への歩行者専用地下道の整備を進めており、この地下道を利用してもらうことを考えている。梅坪駅からのアクセスについても、定時性や輸送量などに優れた鉄道が確保されており、バスの運行については考えていない。

内藤貴充 市民フォーラム

2030年ごみゼロ豊田市をめざして
体力・気力の充実した子どもの育成

一般廃棄物処理
基本計画の目標と考え方

質問

本年度中に改訂する、一般廃棄物処理基本計画の期間と最終年度の目標数値は、ごみゼロに向けた減量計画を立て、市民と共働で取り組んではどうか。

答弁

環境部

計画期間は平成20年度からの10年間で、目標数値は現在改訂中のため、まだ数値を示す状況ではない。ごみゼロを減量目標にすることは考えていないが、市民の皆様にごみゼロの意識を持ってもらうことは重要であり、今後は基本計画において、ごみを出さない、作らないの「入口対策」についても議論を進める予定である。



議会の委員会視察

市政の課題や先進事例の調査を行うため、常任委員会では他都市への行政視察を予定しています。

行政視察

各委員会の市内視察と、教育次世代委員会の行政視察は「6月定例会夏号 No.84」参照

企画総務委員会 [10/30(火)~11/1(木)]

- 東京都調布市 PFI事業による学校整備
- 群馬県太田市 土日の窓口開庁、1%まちづくり事業
- 千葉県市川市 1%支援制度、電子自治体の構築

生活社会委員会 [11/6(火)~8(木)]

- 東京都八王子市 浄化槽の市町村整備事業
- 千葉県松戸市 消防救急車
- 東京都水道局 オゾン・生物活性炭を使った高度浄水処理
- 千葉県柏市 防災公園整備事業

環境福祉委員会 [11/6(火)~8(木)]

- 千葉県千葉市 保健福祉センターの機能及び運営
- 埼玉県坂戸市 市民と行政との協働による健康づくり事業、緑と花と清流基金事業など
- 東京都港区 みなと環境にやさしい事業者会議など

産業建設委員会 [11/13(火)~15(木)]

- 大阪府東大阪市 中小企業に対するモノづくり支援
- 石川県七尾市 七尾シンボルロード整備事業
- 石川県金沢市 横安江町商店街地区歩けるまちづくり構想
- 富山県高岡市 駅前再開発事業

今後の医療を考える 全議員研修を実施



医療の現状について講義を行う中野浩氏

6月27日、藤田保健衛生大学学長の中野浩氏をお迎えし、医療の現状をテーマに研修会を実施しました。ふだん知ることのできない医療の実態や体内の映像など、講師ご自身の活動を含めながらの講義内容でした。現在の医療現場が直面している問題を再認識し、有意義な時間となりました。

海外視察検討委員会を設置

当市議会では、昭和55年度から議員による海外視察を任期ごとに実施してきました。このたび、従来の海外視察のあり方を見直すため、検討委員会を組織し、これまで6回の会議を行いました。「世界に目を向けて検討すべき豊田市の課題・懸案事項」が14項目にわたって確認され、課題解決のために今期も海外視察は実施すべきと判断。効果的で効率的な視察実施に向け、議論が進められています。

本委員会の検討状況は市議会ホームページでご覧になれます

【おわびと訂正】

とよた市議会だより6月定例会夏号(平成19年7月15日発行)の7ページ「常任・特別委員会」の原稿に一部誤りがありました。おわびして訂正いたします。

【P7左下 生活社会委員会の質問に対する答弁12~13行目】

「…下水道普及率が現在の78.3%から81.5%になる予定である。」
正しくは「現在の58.3%から60.9%に」です。

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

代表・一般質問の様子は、インターネット録画放映でも閲覧できます。

アクセスは検索サイトから **豊田市議会**

検索

または <http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.htm>

< その他 > の「議会中継 録画映像」をクリック!

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

	生中継・録画放送	生放送
放送チャンネル	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	ラジオ・ラプイート 78.6 MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月7日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「9月市議会定例会 秋号」です。
このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。